

研究成果の普及に関する一研究

～情報モラル教育校内研修パックの活用を通して～

青山浩晃（島根県教育センター）

概要：平成 24～26 年度に教育の情報化の推進を目指して取り組んだ研究の 2 つ目の成果物として「情報モラル教育校内研修パック 2015」を作成した。この成果物など、教育センター等の研究成果物を学校で活用してもらうための効果的な紹介・配布の方法を、テーマ研修「情報モラル教育推進研修」のあり方を通して探る。また、研修内容を学校で広めるための校内研修・伝達方法について提案する。

キーワード：教育の情報化，情報モラル教育などを指導する能力，校内研修，
情報モラル教育校内研修パック

1 はじめに

文部科学省が毎年実施している「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」によると、本県の順位は低い状況にある。

そこで、島根県教育センター研究・情報スタッフでは平成 24～26 年度の 3 年間、「教育の情報化」推進のための取組として、「校内研修パック」の作成をテーマにして研究を進めてきた。

平成 27 年 3 月には、2 つ目の研究成果物となる「情報モラル教育校内研修パック 2015」を完成した。この研修パックには、情報モラル教育の校内研修等で使えるプレゼンテーション資料の他、授業ですぐに活用できる無料教材等も多数収録した。この研究成果物は、平成 26 年 3 月に完成していた「ICT 活用校内研修パック」と合わせ、DVD 2 枚組のケース入れて約 800 セット作成し、県内の学校及び県内外の教育関係者に配布した。

この研究成果物「情報モラル教育校内研修パック」を活用したテーマ研修のあり方及び校内研修の充実のための方法を探った。

2 研究の方法

(1) 調査対象および調査時期

県内小学校及び特別支援学校小学部の担任を対象とし、平成 27 年度に研究を行った。

(2) 研究内容

- ・小学校及び特別支援学校（小学部）を対象としたテーマ研修「情報モラル教育推進研修」（5～6 月実施）で、「情報モラル教育校内研修パック 2015」を活用した情報モラル教育の普及を図る。
- ・テーマ研修「情報モラル教育推進研修」の評価をもとに、中学校及び高等学校，特別支援学校（中学部・高等部）を対象とした次年度（H28 年度）の「情報モラル教育推進研修」の内容の提案を行う。
- ・「情報モラル教育校内研修パック 2015」をさらにブラッシュアップした「情報モラル教育校内研修パック 2016」を作成する。
- ・校内研修パックを利用した校内研修を提案する。

◎『情報モラル教育推進研修』の概要

平成 23 年度以降、島根県教育委員会では、各校の情報担当者等を対象とした健康教育（学校安全）研修及び教頭を対象とした管理職研修で情報モラル教育の内容を扱ってきた。また、経

験者研修（11年目）でも情報モラル教育に関する内容を取り扱った。しかし、「教員のICT活用指導力」の結果からも研修内容が各学校に十分に広まっておらず、情報モラルの授業が計画的に行われたとは言い難い。そこで、実際に情報モラルの授業を行う教員を対象とした「情報モラル教育推進研修」を新たに立ち上げ、「情報モラル教育校内研修パック2015」に収録した資料や教材の活用例を示すことにより、校内での情報モラル教育の推進を図ることとした。

研修を実施するに当たって、初年度は小学校高学年の担任及び特別支援学校（小学部）の授業担当者を対象とした。また、情報モラル教育にあまり詳しくない教員でも参加しやすくなるように、初歩的な内容を中心に扱うことを実施要項に示した。

3 結果

（1）情報モラルに関する授業の実施状況

7月末までの各学校における情報モラルの授業実施状況（外部講師によるものは除く）では、220校中97校（約44%）で教員による情報モラルの授業が実施されていた。

8月から12月末まででは、217校中163校（約75%）で実施されていた。

（2）研修内容の校内での伝達について

研修内容の校内での伝達状況をみると203校（約92%）が校内での伝達しており、その多くが1学期末までに伝達を行っている。

伝達方法では、「資料の回覧」が最も多く156校であった。そのうち、「資料の回覧」のみは39校である。また、「校内研修で（口答で）」が68校、「校内研修（模擬授業を取り入れて）」が15校あり、「情報モラル教育校内研修パック2015」を活用した校内研修が実施されたことが伺える。

（3）情報モラル教育校内研修パック2015の利用状況について

1・2学期を通じた利用状況には、校内研修で収録されている情報モラル教育に関するプレ

ゼンテーション資料を全部利用した、または一部利用したとの回答が113校であった

授業ですぐに活用できる教材として収録したものについては、どれも活用がされている。中でも、インターネットに接続しなくても利用可能な教材である日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）提供「ネット社会の歩き方」や文部科学省配布「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」は多くの学校で活用された。

4 考察

「情報モラル教育推進研修」を行ったことで、受講者の情報モラル教育に対する意識が高めるのに一定の効果はあった。また、情報担当以外の教員を対象にしたことも効果があった。

また、研修において「具体的なイメージを持つことができた」や「学校全体で目的などを共有できた」という意見も多く、研修における演習等による伝達が受講者の内容理解につながり、それが各学校における伝達に上手くつながったと考えられる。

5 結論

- ・情報モラル教育推進研修では、研修パックに収録のプレゼンテーション資料を利用した講義や映像教材を活用した模擬授業に効果があった。
- ・情報教育担当者ではなく、授業担当を対象として研修を行うことには効果があった。

6 今後の課題

「情報モラル教育校内研修パック」を更新するとともに、研修の在り方を探る。

参考文献

- ・『教育の情報化に関する手引』文部科学省
- ・『教育の情報化ビジョン』文部科学省
- ・『情報モラル教育実践ガイダンス』文部科学省 国立教育政策研究所